

【モチーフと題材】 生物から人物像や器物、建造物までモチーフは多種多様で、親子やペア、家族、縁起物などを題材にしています。



【ボーンチャイナの置物ができるまで】

原型作成	鋳込み・生地作成	組み立て・仕上げ	縮焼き・施釉
<p>1 粘土原型作成</p> <p>油粘土を用い、焼成による収縮を見込んで割り掛けたサイズで作る</p>	<p>4 鋳込み型作成</p> <p>石膏原型から製品を作るための鋳込み型を作る</p>	<p>7 組み立て</p> <p>泥漿を接着剤にしてパーツを組み立てる</p>	<p>10 縮焼き生地完成</p> <p>1200~1230℃で14時間焼成する(縮焼き)その後、接合部のバリなどをチェックして仕上げをする</p>
<p>2 石膏原型作成</p> <p>粘土原型を基に石膏原型を作るための型取りをする</p>	<p>5 鋳込み作業</p> <p>鋳込み型に泥漿(でいしょう)を流し込み、石膏の吸水性を利用して成型する</p>	<p>8 仕上げ</p> <p>竹ヘラや水を含んだ筆を使い、接合部のハミ出しなどを修正して仕上げる</p>	<p>11 施釉(せゆう)</p> <p>スプレーを使って釉薬を均一に掛ける1100~1130℃で11時間焼成する(釉焼き)</p>
<p>3 石膏原型完成</p> <p>それぞれのパーツごとの石膏原型が完成</p>	<p>6 生地パーツ完成</p> <p>それぞれのパーツが完成</p>	<p>9 ナマ生地完成</p> <p>焼成の際の変形を防ぐためトチで支える</p>	<p>12 生地完成</p> <p>釉薬が溶けて表面が半透明のガラス質になり白生地が完成</p>

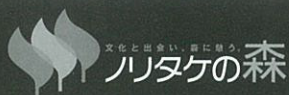
【組立て前のパーツ】

複雑な形状の製品はパーツの数も多くなります。



【焼成時の変形を防ぐ工夫】

縮焼き時には、収縮時の変形を防止するため、本体と同じ素材で作った「トチ」と呼ばれる支えを組んで焼成します。



ノリタケの森クラフトセンター内 ノリタケミュージアム
〒451-8501 名古屋市区則武新町三丁目1番36号 TEL052-561-7114[代] FAX052-561-7276
交通 ■ 地下鉄東山線「亀島」駅下車2番出口より徒歩5分 ■ JR名古屋駅～徒歩15分、名鉄栄生駅～徒歩15分 ■ 駐車場 ■ 有り
ホームページ ■ <http://www.noritake.co.jp/nori/>